

登録コード	UA102500	開講年度	2026				
授業題目	解析手法論 ・ 心理統計法特論				担当教員	島田 英昭 他	
					副担当	三和 秀平	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
	【研究科共通】自身の専門分野における高度な知識と技能を有する。				心理統計法に関して、自身の専門分野における高度な知識と技能を身につける。		
	2 6 UAカリ・総人社, 2 5 UAカリ・総人社, 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
	【研究科共通】量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。				心理統計法に関して、量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を身につける。		
	2 6 UAカリ・総人社, 2 5 UAカリ・総人社						
	【研究科共通】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				心理統計法に関して、人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を身につける。		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学						
	【心理・長野臨床以外】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				心理統計法に関して、心理学分野の高度な知識・技能を身につける。		
	【心理・長野臨床以外】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				心理統計法に関して、量的・質的分析方法を身につけると同時に、各領域独特の解析手法を学習し、分析力を培うとともに、領域間における手法の差異を認識することにより、各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を身につける。		
(2)授業の概要	人文社会学系学問、特に心理学で求められる基本的統計手法を取り上げ、解説・演習を行う。						
(3)授業計画	第1回：平均・分散・標準偏差（島田） 第2回：線形変換と平均・分散（島田） 第3回：相関係数（島田） 第4回：回帰分析（島田） 第5回：正規分布（島田） 第6回：統計的帰無仮説検定（島田） 第7回：共分散構造分析（島田） 第8回：統計を用いる際の注意点（三和） 第9回：回帰分析（三和） 第10回：交互作用項を含んだ重回帰分析の基礎（三和） 第11回：交互作用項を含んだ重回帰分析の実践（三和） 第12回：分散分析（三和） 第13回：共分散分析の基礎（三和） 第14回：共分散分析の実践（三和）						
	受講生の予備知識、希望等に応じて内容を変更することがある。 授業アンケートを実施する。						
(4)成績評価の方法	● 以下を総合して判定する。 島田担当分：授業への参加と議論（50％）、課題（50％） 三和担当分：授業への参加と小課題（50％）、最終課題（50％） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 解析手法論に関する基礎的・応用的な知識や関心を評価する。 ● 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀、89-80％ 優、79-70％ 良、69-60％ 可、59％以下 不可。						
(5)成績評価の基準	【卓越している】心理統計法に関する知識・技能等について、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】心理統計法に関する知識・技能等について、非常に高い水準にある。 【やや上にある】心理統計法に関する知識・技能等について、高い水準にある。 【その水準にある】心理統計法に関する知識・技能等について、一定水準にある。						
(6)事前事後学習の内容	● 授業内容について、振り返りを行う。 ● 授業内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ● この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(7)履修上の注意	心理学分野の学生を主な対象とした授業であるが、他分野の学生も相談の上受講が可能である。						
(8)質問,相談への対応	原則としてメールで対応する。						
【教科書】	指定しない。						

【参考書】	東京大学教養学部統計学教室（編）（1991）. 統計学入門 東京大学出版会 島田英昭・井関龍太（2019）. 「統計的に有意」で満足していませんか？—統計的帰無仮説検定の問題と対応—, 知能と情報（日本知能情報ファジィ学会誌）, 31(3), 82-90.
-------	--